

活動中のプロジェクト

各プロジェクトチーム 随時メンバー募集中！

興味を持った方、
気になった方は気軽に
お問い合わせください

ROCK THE FARM

一新琴似ふれあい農園一

新琴似にある農園で区画を借りながら、農園の運営管理のお手伝いと、人と人のコミュニケーションを生み出す活動をしているチームです。



サイクルシェアリング ポロクル

自転車利用のマナーやルールの向上についての情報発信、自転車とエコ、地域経済振興などを考え、社会に提案していくためのチームです。



オーガニックファーム

石狩市にある、「はるきちオーガニックファーム」と連携し、畑をフィールドとした活動を通して、人と人、人と自然の循環やつながりを伝える活動を行っているチームです。



Radio

環境情報や活動情報などを発信していくためにコミュニティFMやインターネット放送を行っているチームです。現在、FMアップル(76.5Mhz)で毎週火曜日19:30~20:00放送中。



釜石支援

現地で活動中の、岩手県釜石市出身の仲間を応援しているチームです。長期・短期ボランティアのコーディネートなどを行っています。



Information

コミュニティスペースご利用ください

open time 利用は無料！いつでも遊びにきてください。

13:00~22:00 (定休日 毎週月曜日)

打合せや勉強などご自由にお使いください。
ezorock会員ならいつでもご利用いただけます。

rental 1階スペースを専有される場合は有料です。

会員 13:00~18:00 / 1時間 ¥500
18:00~22:00 / 1時間 ¥1,000

非会員 13:00~18:00 / 1時間 ¥1,000
18:00~22:00 / 1時間 ¥2,000

ご利用は要予約、お問い合わせください。

※公共交通機関でお越し下さい。駐車場・駐輪場はございません。
自転車でお越しの際は地下鉄中島公園駅にある
札幌市の駐輪場を ご利用ください。

数量限定 Tシャツ・ジャケットつくりました。



T-shirt (S-M-L)

会員 ¥3,500
非会員 ¥3,800

★body
オーガニックコットン
★design
naturalbicycle



Jumper (Mのみ)

会員 ¥14,800
非会員 ¥16,800

★body
Breathatec
★design
naturalbicycle

デザインモチーフは【Agave americana(アオノリユゼツラン)】という草です。
「未来」のために、私たちは「今」行動します。というezorockのコンセプトに合わせ、50年育ててから初めて花を咲かせるという個性的な草をモチーフにしました。
その個性的な草は北大植物園でも2008年に花を咲かせたそうです。
高くのびて咲かせた花は、よく見るとたくさんの若者が手を上げている姿になっています。未来を見据えて取り組む活動を表現したデザインです。

代表の小言

敬人の想いを 引き継ぐ

8月28日、せんだい・みやぎNPOセンターの加藤哲夫さんが、永眠されました。加藤さんは、日本のNPO業界を、数十年前も引つ張ってきた方で、ezorockも様々な場面で大変お世話になった方です。

私は8月27、28日に、仙台で行われたARABAKI ROCK FESTIVALの環境対策活動に参加していたため、偶然、29日に行われたお別れの会(葬儀)に参列することができました。

たくさんの方からの感謝の言葉や、生前の加藤さんの言葉を思い出すうちに、ezorockという団体が、10年以上も活動を継続してこれたのも、こうした方々が、「NPO」という業界を開拓し、活動しやすい土壌を作ってくださったおかげだということを改めて、実感する機会となりました。

「よい社会のために人生をかけた加藤さんの思いを引き継ぎ、様々な活動を通して成果を出していくことが、加藤さんへの一番の恩返しとなることでしょう。」

加藤さんをご存知ではない方もいらっしゃると思いますので、近日中に闘病中にまとめられた書籍を入荷いたします。ぜひ、お時間のあるときに、多くの方に読んでいただければと思います。

(草野竹史)

環境NGO ezorock 会員向け情報誌 vol.9 2011.9

Rock The Life! ezorock

〒064-0809 札幌市中央区南9条西3丁目1-7

TEL/FAX 011-562-0081 E-mail info@ezorock.org

WEB http://www.ezorock.org/



環境NGO
ezorock
www.ezorock.org

Rock The Life! ezorock

2011.9
vol.9

サイクルシェアリングポロクル の現場運営に携わっています。

千葉達也 西本笙子 / ezorockers
「秋」のごちそうを見つけに／えぞ六



今月の写真

クルー(ポロクルスタッフの愛称)の点検風景。
毎日、自転車に異常がないか、すべてのポート(自転車貸出拠点)を見回り、パンクや故障、清掃、システムとの整合を見て回ります。
そして、手前がポロクルジャケット。奥がポロシャツ。ポロクルスタッフは必ずこの装備で街中を走っています。

ezorockでは

サイクルシェアリング ポロクル の現場運営に携わっています。



さて、早速見慣れない単語が目に入ってきたと思います。
“サイクルシェアリング”と“ポロクル”。
まず「サイクルシェアリング」とは一体何なのか。日本語にすると自転車の共同利用となるこの言葉。
一体どんな仕組みなのかというと、市街地に点在する「ポート」と呼ばれる拠点(専用の駐輪場)、ここに配置されている自転車であればどこでも借りることができて、どこにでも返せるという仕組みです。
レンタサイクルと混同されがちですが、レンタルは観光等を楽しむために自分だけが利用するものだとなれば、シェアリングはポート間の移動をするためにみんなが利用するもの。つまり自分が利用していない時は誰かが利用しているかもしれないわけです。
こんな仕組みが広がることで何が起きるのだろうか。
ひとつめに地域の活性化。
公共交通も通っていない、歩いて行くにはちょっと遠い。そんな場所に気軽に足を運べるようになること、地域に訪れる機会が多く

なることで街の元気に繋がります。
ふたつめは放置自転車を減少させること。
放置されているということは、その間その自転車は使われていないということ。そのロスをみんなで共同利用することで放置される自転車が少なくなります。
そしてCO₂の削減。
都心部の移動という点においては、自動車より自転車のほうが早く移動できたりします。
そこで今まで自動車を利用していたところを自転車に乗り換えるだけで、CO₂の削減に繋がります。
そんなことが期待される仕組みがサイクルシェアリングと呼ばれるものです。
そして「ポロクル」。「サッポロ」みんなのサイクル」からきている、札幌で行われているサイクルシェアリング。



9月15日現在ポート数32箇所、自転車台数約180台が中心部で稼働しています。その運営の中心となっているのは株式会社ドーコンモビリティデザインという会社。ポートの開発は株式会社土屋製作所、自転車の製作を武田産業株式会社。地元札幌の様々な会社や人の想いによって成り立っているのが、このポロクルというわけです。
ezorockでは、主にユーザーが安全に、気持ちよく利用できるように日々の自転車の点検・整備や、自転車が多すぎたり少なすぎたりしないようポート間で台数を調整する作業を行っています。
これらの作業をこなすだけならezorockじゃなくてもできる。
ではなぜezorockが関わっているのか。
ポロクルでは自転車マナーの向上にも力を

入れています。実際に運営していく中で気付いたこと感じたことを若者の柔軟な発想で発信し、自転車マナーの向上に繋げようという考えです。
そして最大の理由はシェアリングという概念への共感です。シェアリングは自分以外の誰かがいなければ成り立つことはなく、自分のハッピーが誰かのハッピーに繋がる。そして、若者も使いたくなる、次世代も使いたいと思える。そんな仕組みをezorockと一緒につくっていきたく考え、ポロクルの運営に携わっています。
もしよければこれを読んでいるあなたも、シェアリングする仲間になってもらえたら幸いです。

文責：三上貴史



ezorockers no.4



札幌学院大学
千葉 達也 さん (19)
あだ名：chitta
ezorock 歴：5ヶ月

あっ、chittaっていいです～

●ezorockに参加したきっかけと理由

きっかけは友達に誘われてポロクルのアルバイトを始めたことです。面接の際、RSRのボランティアのことや団体の概念を聞き、とても魅力を感じたので参加を決意しました。正直参加するまでezorockという団体の存在も活動もまったく知らなかったです…どんな団体なのかと不安もありました。しかし、今では自分自身が成長できる環境に出会えてよかったと思っています。

●自分にとってのezorockとは？

ezorockは意識改革の場です。RSR環境対策での「ごみ分別ナビゲート」がいい例です。来場者に分別を促すはすが、自分たちもごみの分別について活動の中で考えている。とても不思議な感覚でした。それは日常に戻っても自然と分別を意識している習慣を作ること

繋がりました。そしてポロクルでも同じです。仕事で車道の左側を走っているため、普段の生活でも無意識に車道の左側を走っていました。すれ違う高校生にすごい目で見られましたがい…。

●将来の夢

世界を見て回りたいです。小さい時から日本以外の国に興味があり、一度は留学なども考えましたが実行に移せず…しかし、ezorockに入って世界に行った方の話を聞いて、今まで以上に強い思いを抱くようになりました。いつ、どこに行くかは未定ですが必ず叶えます。あとは会社作りたいなあとかです。



北海道大学 法学部
西本 笙子 さん (20)
あだ名：しょこたん
ezorock 歴：1年1ヶ月

たくさんの人、 それぞれの感じ方を知りたい

●ezorockに参加したきっかけと理由

サークルの先輩から誘われたことです。当時はRSRについてよく知らず、「ボランティアで清掃をすると無料でライブを見れる」くらいにしか思っていませんでした(当然ezorockという団体の存在も知りませんでした)。実際にRSRに行ってみて、暑いし足は痛くなるし睡眠不足だしで大変でした。でも、自分たちの呼びかけでゴミが分別されていくのを見てみると、3Rやごみを出す側のマナーについてなど色々と考えさせられました。

●自分にとってのポロクルとは？

私にとってポロクルは、地元の人と交流できる場所です。ポロクルで街中に出ているとよく声をかけられます。ポロクルの使い方を説明して「ありがとう」と言

われたり、日頃から利用されているユーザーさんに「暑いの頑張ってるね」「いつもお疲れさん」と声をかけたりしていただけると、嬉しくてやる気が湧きます。また、その流れて世間話にもつれこむのも楽しいです。

●将来の夢

エンジニアになることです。近い将来の目標としては、人とコミュニケーションできるロボットの研究をしてみたいです。常識や自我を持つロボットを作るためには、まず人間の常識や自我を理解しないといけないと思います。だから、色々な人の考え方、感じ方を聞いてみたいです。

「いや、オレならあれだなあ。しかもゴハンの上に乗せてあれもかけて…」ってボンと頭を駆け巡った。
テレビの情報番組での街頭アンケート。『秋』と言えは？の問いかけに様々な回答が。定番な物から、さすが北海道という物まで。我々にたくさんメニューを与えてくれる『秋』。いくつかに覗いてみましょう。
この時期しか食べられない物、旬を向かえる物、たくさん北海道にはありますよね。まずあげておきたいのは秋鮭で、これ

は産卵をするために帰ってくる鮭なのですが、ふつうの鮭との違いは、体内の脂肪がほとんど卵や白子を作るために使われている点。だから、いくらは濃くてフチフチ、白子もトロッと濃厚。それに加え、身もウマイ。低カロリーで弾力があり、塩漬けにして熟成させると油焼けもせず日持ちもする。ここで冒頭に述べたアレ。札幌市内から車で二時間ほど行った太平洋側のとある街に昔ながらの食堂がある。その親子丼(当然、秋鮭といくら)が絶品！北海道産のツヤ

ツヤなご飯の上に、オレインジ色の旨味が溢れ出ている焼き身をのせ、昆布ダシのきいたおぼろちゃん特製のいくらの醤油付けが井からこぼれんくらいにかかってくる。焼き身の塩味が強いので、いくらはダシの味を感じるくらい。もちろんフチフチした食感も楽しめる。このハーモニーはクセになる。今すぐにでも食べに行きたいものです。まだまだ伝えたいのですが、ここから先は皆さんでぜひ各地に足を運んで『秋』からのごちそうを探してみてください。

『秋』からのごちそうを見つけに



第四号



文・ゆ～さん